

CLOSE UP クローズアップ

家庭科の「発達と保育」の授業で視覚障害者向けの絵本作りを行い、ご自身のライフワークにもしていられる相澤先生。絵本作りやボランティア活動を通して金城生らしい心の優しさ、豊かさを身につけてほしいと願い、いつも生徒達を温かく見守り、指導しておられます。



■ 金城学院高等学校

相澤 幸子 教諭

■ 1968年金城学院家政学部家政科卒業および愛知文化服装学院夜間部師範科卒業。1977年から1984年まで金城学院高等学校非常勤講師、1982年から1988年まで金城学院中学校非常勤講師を務める。金城学院中学校専任教員を経て1990年より金城学院高等学校専任教員。愛知県私学家庭科研究会役員、日本聖公会聖マタイ教会員

多忙な日々の中で 家庭科の発展を模索

家庭科の教師になることは長年の夢でした。子育ても一段落し、時間的にゆとりが生まれたことから母校である金城学院を訪ねたところ、家庭科の教師として採用していただけることとなりました。以来30年、いつも神様に見守られながら個性豊かな生徒達とともに、楽しく充実した教員生活を送っています。

ここ数年は家庭科の専任が1人となり、また今年は実習室の改装と私学家庭科研究会の役員職務とが重なり、非常に多忙な日々を過ごしています。そのような中で、人間の命の営みを教える教科のひとつとして我が校の家庭科をどのように発展させたらよいかということを常に模索しながら、教育に取り組んでいます。

家庭科では、1年生は必修教科として日本の伝統衣服である和服について学びます。日本人として、着物の名称や着方、畳み方など基本的なことを生徒たちに教えたいと思い、自ら作成したビデオで覚えてもらったりもします。ほとんどの生徒は着つけができるようになり、これは私にとっても大変嬉しいことです。2・3年生は選択教科としてフードデザイン、発達と保育のいずれかを選んで学びます。いずれのカリキュラムも金城ならではの独自性があります。例えばフードデザインでは薬膳料理やテーブルコーディネートなどの専門家による特別授業が行われたりします。野菜を多く使う料理やパティシエによるお菓子作りの実習などは生徒達も楽しそう。生徒達のにこやかな笑顔を見ていると、「教師になってよかった」と実感します。

絵本作りを通して 優しい心を育成

発達と保育では絵本作りの一貫として視覚障害者のための絵本作りを行います。これは私自身のライフワークでもあり、約40年間研究を続けているテーマでもあります。視覚障害者向けの絵本は通常の絵本とは異なり、「触る絵本」が基本です。布や毛糸を使い、

絵を立体的にすることで目の見えない子どもでも触って楽しめる、また形や色をはっきりさせることで弱視の子どもでも読める絵本。今年は生徒達にこの絵本作りを夏休みの宿題としました。折しも今年は工事の関係でクーラーが効かず、教室はまさに蒸し風呂状態。しかし生徒達はその酷暑の中で熱心に絵本作りに取り組みました。生徒達が夏休み中に登校して作業するときは、私も登校して指導しますが、何よりもそのひたむきな熱意には感動させられました。

絵本の文章の点訳は、名古屋盲人情報文化センターの奥野真里さんをお願いしています。奥野さんは毎年生徒の作品をご覧になり、講評をしてくださるので大変参考になります。今年も出来上がった絵本はどれもかわいらしく、温かさに満ちあふれたものばかり。生徒達のそのアイデアの豊かさに、私の方が学ばされる思いです。深谷校長とこの絵本作りについてお話をした時に「金城の生徒達は弱者に対して温かい心を持つことができている」といわれました。私は生徒達とボランティア活動も行っていますが、こうした活動や絵本作りという1つの課題を通して障害や困難を持つ人とどう関わっ



生徒たちが作成した絵本の数々

ていけるかを学び、また果敢に取り組める人になってもらいたと思います。

学院で豊かな経験をした卒業生達は心優しく、温かい人ばかりです。私の宝物は卒業生がくれた「さっちゃんへ」というアルバム。ここには生徒達の優しい気持ちがいっぱい込められています。これを見るたびに温かい気持ちになり、また私も頑張ろうという気持ちにさせられます。今でも同窓会に呼ばれますが、それぞれママになって立派に子育てをしている卒業生達を見ると、大変感慨深く、嬉しいものです。今年は調理実習室も被服室も新しく改装され、今まで以上に使いやすくしていただきました。このような豊かな教育環境の中でこれから家庭科教育を通し、優しく思いやりのある、そして見えないところでも頑張れる人を育てていきたいと思っています。

長い人生の中でこの授業が
役立つ時が来ると信じています

相澤先生はどんな人!?



発達と保育の授業を選択する生徒達に、相澤先生はどんな人かをたずねました。すると「生徒思いの優しい先生」「部活が終わった後に会った時、頑張ってねと声をかけてもらい嬉しかった」「卒業生に対してもとても優しい」など、先生の優しく温かい人柄を挙げる声が多く聞かれました。また「とても家庭的だと思います」という声も。相澤先生は女性としても、生徒達の理想の先生であるようです。



今年改装された食物実習室